

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	旧林家住宅管理事業			コード	112201
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（美術考古館）	作成者 守住 由美子
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	文化・スポーツの振興	施策	文化財の保護・活用
		予算科目	旧林家住宅管理事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		設置条例	旧林家住宅条例		

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	明治時代に林製糸所（イチヤマカ）を経営していた林国蔵の居宅		
目的	対象者	市民及び観光客	
	意図	明治時代の製糸家の住宅を見学しながら、シルクの歴史と文化を学ぶ	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	なし	30年度指定管理料	円
施設における通常業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>入館料の徴収及び館内案内</li> <li>館内清掃及び敷地内の草取り等</li> </ul>		
事業の実施内容	<p>(30年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> <p>4/29 シクフェア無料公開（岡谷市茶道協会による無料呈茶・三味線演奏会）  7/29 岡谷市茶道協会による茶会（岡谷市教育委員会共催）  10/27・28 小原流岡谷の会による伝統文化いけ花親子教室発表会（岡谷市教育委員会後援）  11/3 文化の日無料公開  2/26～4/9 雛人形展示</p>		
前年度の課題への対応			

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象(ただし年間開設日数は入力) *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 施設稼働率	-	-	-	-
年間開設日数（日）	300	304	302	303
1日の開設時間（時間）				
年間利用可能時間（時間）	0	0	0	0
年間利用実績（時間）				
② 年間利用者数（人）	2,691	2,593	2,130	5,341
有料利用者数	1,815	1,626	1,264	4,475
無料利用者数	148	233	64	64
減免措置者数	728	734	802	802
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	9.0	8.5	7.1	17.6
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	4,103,886	4,784,621	6,736,012	6,967,000
経常経費	4,103,886	3,796,221	3,845,092	3,967,000
臨時的経費		988,400	2,890,920	3,000,000
* 臨時的経費の説明	修繕工事費			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
③ 合計コスト(①+②)	6,503,886	7,184,621	9,136,012	9,367,000
前年度比		110.5%	127.2%	102.5%
財源内訳				
一般財源	5,580,866	6,378,691	8,456,952	6,559,000
特定財源	923,020	805,930	679,060	2,808,000
* 特定財源の説明	施設入館料、報告書等売却代、広告料収入			
④ 施設使用料年間収入額	714,420	618,530	531,060	2,436,000
⑤ 年間減免措置額	404,110	415,950	457,140	
⑥ 受益者負担割合	27.3%	21.6%	14.7%	35.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	2,417	2,390	2,932	
前年度比		98.9%	122.7%	
⑧ コストに関する補足説明				

## ●事業の評価 (CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

### 9 有効性評価

\* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 82.7%	0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 85.9%	0

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	施設の老朽化が目立ってきており、来館者の安全の確保や良好な保安全管理が課題とされている。冬期間の入館者が少ないことから公開方法を含め引き続き対策を検討する。	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	入館者の安全や雨漏り対策のため、施設破損箇所等で緊急性の高い箇所について修繕工事を実施する。 平成30年度に引き続き、冬期間（12月から2月まで）の開館時間を2時間短縮する。	
改善開始時期	平成31年4月から	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
内容	予定事業費	円	予定時期

## 施設の維持管理コスト計算シート

事業名	112201	旧林家住宅管理事業
-----	--------	-----------

## 1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
共済費	6,509		6,509	
賃金	1,668,615		1,668,615	
需用費	272,854		272,854	
役務費	142,874		142,874	
委託料	1,752,240	300,000	2,052,240	洋館屋根塗装等修繕工事監理
工事請負費		2,590,920	2,590,920	洋館屋根塗装等修繕工事監理
負担金	2,000		2,000	
			0	
			0	
			0	
合計	3,845,092	2,890,920	6,736,012	

## 2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.30		0.30
合計	2,400,000	0	2,400,000

人

円

## 3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
入館料及び使用料	531,060		531,060	
資料等売却収入	78,200		78,200	
広告料収入	72,000		72,000	
			0	
			0	
			0	
合計	681,260	0	681,260	

## 4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	5,563,832	2,890,920	8,454,752

## 施設の運営コスト計算シート

事業名	112201	旧林家住宅管理事業
-----	--------	-----------

## 1 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

## 2 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00
合計	0	0	0

人

円

## 3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

## 4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0